

体操・新体操

- 1 期 日 令和3年7月22日(木) 体操競技(男女) 男子新体操(団体・個人)
23日(金) 女子新体操(団体・個人)
- 2 会 場 カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)

3 競技に関すること

(1) 競技種目

① 体操競技

- ・男子：ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒の自由演技を実施)
- ・女子：跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの自由演技を実施)

② 新体操

- ・男子：団体および個人
- ・女子：団体および個人

(2) 採点規則

① 体操競技

- ・男子：(公財)日本体操協会2017年版採点規則、および2017年制定・2018年中学校適用規則を適用
- ・女子：(公財)日本体操協会2017年採点規則・変更規則Iを適用

② 新体操

- ・男女とも団体は学校単位で構成する。
- ・男子：(公財)日本体操協会2015年版採点規則(2020年改定版含む)ジュニアルール適用
- ・女子：(公財)日本体操協会2017-2020年採点規則ジュニアルールを適用(日本体操協会HP確認事項採用)一部中体連ルールを適用

(3) 競技規則

- ① 日本体操協会競技規則最新版、および日本中体連遵守事項に準ずる。

② 体操競技

- ・体操競技のユニフォームの胸部、または上腕部に所属チーム名か学校マークを背部にはゼッケンをつけなければならない(ゼッケンは抽選会で決定する)。
- ・団体は同一のユニフォームとする。

③ 新体操

- ・新体操はユニフォームに所属チーム名またはマークをつけなければならない。つける位置腰骨より上(上腕を含む)、体の前面。
- ・個人のユニフォームは団体と同一でなくても良い。団体は同一のユニフォーム。
- ・競技種目は次の種目とする

女子の手具：団体・・・ボール(5)
個人・・・クラブ、リボン(一人2種目)
男子の手具：団体・・・徒手(手具なし)
個人・・・リング・ロープ(一人2種目)

- ・新体操女子の伴奏曲は団体2分15秒～2分30分、個人1分15秒～1分30秒以内
- ・新体操男子団体の出場人数は2～6名とする(仙台市・県大会のみ適用。減点あり)

4 表彰

① 体操競技

- ・団体(学校対抗)・・・男女
- ・個人総合・・・男女
- ・個人種目別・・・男女

② 新体操

- ・団体(学校対抗)・・・男女
- ・個人総合・・・男女
- ・個人種目別・・・男女

5 申し込み方法

- ① 申し込みは所定の用紙（中体連HPよりダウンロード）に必要事項を記入し6月24日（木）までに郵送で申し込むこと（仙台市はC4th可） ※FAXは受け付けない。

・体操競技・新体操共通

〒981-1106

仙台市太白区柳生3-7-3

TEL 022(242)4431 FAX 022(242)4460

仙台市立柳生中学校内

千葉一正・佐藤もとみ

- ・抽選会後の申し込みは、変更は一切受け付けない（6月24日12：00締め切り）。
 - ・申し込みにあたっては、宮城県中体連会誌の大会要項内容を十分に確認すること。
- ② 体操競技の申し込みについて
- ・団体は男女とも1チーム4名（補欠2名）を持って編成し、同一人が全種目を競技しなければならない（学校対抗はベスト3の得点合計で順位を決定する。3名いれば団体とする）。
 - ・男子は団体に出場する者の他に個人選手権に出場することができる。（地区大会出場が条件）
 - ・男子は個人選手権に出場する選手は、団体の補欠を兼ねることができる。ただし、その場合は団体の補欠と個人選手権の両方に登録しなければならない。
 - ・女子の個人出場者は団体の補欠などに登録できない。（個人として権利を有するため）
 - ・男子は監督会議までに団体と個人の入替えを行うことができる（女子は補欠と入れ替えは可）
- ③ 新体操の申し込みについて
- ・団体競技は1チーム女子5名（補欠3名以内）、男子2～6名（補欠2名）で編成する。
 - ・新体操男女ともに個人1校2名以内とし団体と兼ねても良い。個人に補欠はない。
 - ・新体操男女ともに個人の出場は必ず2種目演技しなくてはならない。
- ④ 男子新体操は体操競技と兼ねて出場しても良い（仙台市と宮城県のローカルルール）。

6 監督（顧問）、審判等

- ・監督（顧問）は出場校の校長、教員、部活動指導員とし、必ず大会運営に参加、協力すること。
 - ・監督（顧問）は、生徒が参加する日の朝に行われる監督会議に、必ず出席しなければならない。
 - ・コーチ、テクニカル・アドバイザーは申込書に記入され、学校長が認めた場合のみ可。申し込まれない場合は競技中、競技場には入れない。コーチの変更は監督会議を最終とする。（新体操女子のコーチは競技中は競技場に入れない。テクニカル・アドバイザーは男子のみ適用）
- * 「外部コーチ」「校外コーチ」「テクニカル・アドバイザー」の明記を忘れないこと。
- ＊外部コーチ・・・・・・・・・・校内において継続的に指導している外部コーチ
 - 校外コーチ・・・・・・・・・・校外（クラブ等）で指導しているコーチ
 - テクニカル・アドバイザー・・・・中学校の教職員が所属校以外の中学校の補助・指導をする場合（体操競技のみ）

7 その他

- ・新体操と体操競技は同一人が兼ねることはできない（男子の新体操は体操競技と兼ねて良い）。
- ・本会場において、女子の新体操、体操競技（ゆか）はCD、またはポータブルオーディオプレイヤー等に曲を入れて本部が用意した音楽機器を使用するか、持参した音楽機器にて曲をかけること。本部のを使用する場合は、本番用だけでなく予備も用意して大会に参加すること。
- ・演技開始の際は、各校の音楽係、コーチ等が音楽機器の操作をすること。なお、どちらの音楽機器においても会場のマイク等を使用することは認めない。

※ 音楽機器の使用方法や音や時間の確認など、音楽調整の時間や会場練習の際に必ず確認すること。音量についてもその際に確認すること。また本部の指示に従うこと。

- ・体操競技のゼッケンは抽選会で決定する。班編制に記載される番号を確認すること。ゼッケンは男子が黒、女子は赤の数字とする。（サイズは縦12cm×横18cm程度の一般的なサイズでかまわない）
- ・大会前日の準備に関しても必ず出場校の教員が引率すること。生徒のみ、保護者や外部コーチの引率での参加は認められない。
- ・冷房代として出場者一名1,500円を大会当日の受付で徴収（徴収の有無は抽選会で最終判断）